



日本地球化学会ニュース

No. 229 June 2017

Contents

年会のお知らせ	2
2017年度日本地球化学会第64回年会のお知らせ (2)	
研究集会のお知らせ	4
Goldschmidt 国際会議 2017のお知らせ	

年会のお知らせ

2017年度日本地球化学会 第64回年会のお知らせ(2)

主催：日本地球化学会

共催：日本化学会，日本鉱物科学会，日本質量分析学会，日本地質学会，日本分析化学会，日本温泉科学会

後援：東京工業大学地球生命研究所(ELSI)ほか
(順次記載いたします)

協賛：国立大学法人東京工業大学

会期：平成29年9月13日(水)～15日(金)

会場：東京工業大学・大岡山キャンパス(西地区講義棟及び本館，デジタル多目的ホール，懇親会は大学食堂棟2階)

年会サイト：<http://www.geochem.jp/conf/2017/>

交通：東急目黒線・大井町線「大岡山駅」下車すぐ
アクセス方法の詳細ならびにキャンパス内の地図については，次のサイトを参照下さい。

<http://www.titech.ac.jp/maps/index.html>

宿泊等：最寄り駅の大岡山駅周辺には宿泊施設がありませんが，都心や大井町線，目黒線沿線に多数のホテルがあります。ご希望の方はお早めに予約をしてください。

内容：口頭発表およびポスター発表，夜間小集会，学会賞記念講演，総会，懇親会など。関連イベントとして，9月12日(火)にショートコースを開催，9月16日(土)に市民講演会を開催します。

講演セッション：「学会基盤セッション」と「特別セッション」を開催します。学会基盤セッションは，以下の通りです。日中シンポジウムはセッション内に組み込まれる予定です。特別セッションは現在公募中ですので，奮ってご応募ください。

学会基盤セッション

- G01 大気微量成分の地球化学
- G02 古気候・古環境解析の地球化学
- G03 放射性廃棄物と地球化学
- G04 鉱物境界面の地球化学，水-岩石相互作用
- G05 海洋における微量元素・同位体
- G06 マントル物質の化学とダイナミクス
- G07 宇宙化学・惑星化学

G08 生物と有機物の地球化学

G09 水圏や土壌圏の環境地球化学

G10 最先端計測・同位体化学の地球化学及び境界領域への適用

G11 原発事故で放出された放射性核種の環境動態

G12 初期地球と生命起源の地球化学

G13 固体地球化学(全般)

学生発表賞：きわめて優れた口頭・ポスター発表を行った日本地球化学会学生会員に授与します。表彰式は学会最終日のクロージングセレモニーの際に行います。学生発表賞を希望される学生会員は，講演申請時にエントリーしてください。学生発表賞を希望される方で，学会入会手続きがまだの方は，早めに入会手続き(書類提出+入金)を済ませてください。

講演申込，講演要旨原稿受付：昨年度と同様に，同時に行います。要旨原稿の提出を行わないと講演申込は完了しません。年会サイトのみから受け付けます。

講演申込及び要旨提出は，6月13日(火)14時受付開始，7月13日(木)17時締切を予定しています。締切り日時は延長しない予定です。

なお，投稿する要旨の原稿は締切り日までは修正可能ですが，締切日を過ぎた後は一切修正できません。講演要旨のフォーマットは年会サイトからダウンロードしてください。講演要旨の投稿の際には，抄録の他にもJ-STAGEでの検索用のテキストを入力する欄がありますので，お手数ですが要旨の本文を入力してください。また，年会サイトからの申込みが困難な場合は，下記の年会事務局宛に締切り1週間前の7月6日(木)までにご連絡ください。

参加予約申込：年会サイトから申し込んでください。6月13日(火)から8月21日(月)17時までに参加予約をされた場合，事前割引が適用されません。それ以降は，年会会場にて当日料金で参加登録を行ってください

プログラムの公表：プログラムは講演申込終了後，直ちに作成され，8月中旬に年会サイト上に公開します。

参加登録費：

	一般会員	学生会員	会員外 一般	会員外 学生
事前参加登録	5,000円	2,000円	6,000円	3,000円
当日参加登録	7,000円	3,000円	8,000円	4,000円

*「会員」は日本地球化学会及び共催学会の会員を指します。当日受付で入会申込された方も会員扱いとします。

懇親会費：9月14日(木)学会賞等受賞講演終了後、キャンパス内の大学食堂棟2階にて開催いたします。

	一般会員	学生会員	会員外 一般	会員外 学生
事前参加登録	5,000円	2,500円	5,000円	2,500円
当日参加登録	7,000円	4,000円	7,000円	4,000円

お支払方法：事前参加登録時のお支払いは、年会サイトから、クレジットカードによるオンライン決済をお願いいたします。クレジットカードによるお支払いが困難な場合は、年会事務局に締切りの一週間前までにお問い合わせください。年会当日の参加登録費のお支払いは現金のみとなります。領収書が必要な場合は、年会当日に受付にお申し出ください。

要旨集：本年度の年会では、年会ホームページによる要旨集公開を基本とし、冊子体あるいは電子媒体(USBなど)による要旨集の配布はいたしません。例年通り、年会ホームページにて要旨を公開いたしますので、必要な方は事前にダウンロードするなどしてご利用ください。ただし、冊子体要旨集をご希望の方には販売いたします(一冊3000円)。ご希望の方は参加申し込み時にお申し込みください。年会当日に受付にてお渡しいたします。

インターネット接続：会場内は無線LANの環境があるのですが、セキュリティー管理の都合上、本年会ではゲストアカウントの発行はいたしません。ただし、東京工業大学は、大学等教育研究機関の間でキャンパス無線LANの相互利用を実現する国立情報学研究所(NII)のサービスである『eduroam JP』に加入しております。このため、eduroamに加入している他機関の来訪者が、東工大内のeduroamを利用して無線LANを利用する事が可能です。eduroam加入機関の皆様は利用方法、アカウントを事前に

各機関においてご確認ください。eduroamの詳細情報は次のサイトをご覧ください。<http://www.eduroam.jp/>

併設展示：関連機器メーカーその他による展示会を併設する予定です。詳細については年会事務局にお問い合わせください。

小集会：学会期間中の昼食時間、あるいは講演終了後に小集会を行うことができます。会場数に限りがございますので、希望される方は早めに年会事務局までお問い合わせください。

夜間小集会：例年通り、初日セッション終了後にある講演会場で行われる予定です。詳細は決まりましたら副会長からご案内がある予定です。

総会および受賞記念講演：例年通り、2日目午後にはデジタル多目的ホールにて開催される予定です。奮ってご参加ください。

閉会式：例年通り、最終日全てのセッションが同期して終了後に、ある講演会場で行われる予定です。優秀学生発表賞の発表と授与などが行われる予定です。

以上が年会会期間中のご案内でした。他に、会期に合わせて次のようにショートコースと市民講演会の2つの行事が予定されていますので奮ってご参加ください。

●2017年度地球化学会ショートコース

2017年9月12日午後 会場：東京工業大学大岡山キャンパス西5号館(予定)

演題、講師(敬称略)

13:00-13:50 具体的なモノからみるマントル：仙田量子(九州大学)

14:00-14:50 海から見える地球表層の元素サイクル：吉村寿紘(JAMSTEC)

15:00-15:50 渚のメタンにまつわるエトセトラ：高野淑識(JAMSTEC)

16:00-16:50 地球化学データの環境学的活用法について：板井啓明(国立水俣病総合研究センター)

17:00-17:50 若手申請書類の書き方(仮)：大上雅史(東京工業大学)

ショートコース世話人 飯塚・大野・服部の各氏

●日本地球化学会市民講演会

テーマ：宇宙・地球・生命—地球化学が読み解く水の

役割 (仮題)*

日本地球化学会主催・東工大 ELSI 共催

開催日時：年会開催翌日 9月16日(土) 午後

場所：東工大 大岡山キャンパス ELSI-1 Hall

開催内容：招待講演3つ+講演者によるパネルディス
カッション**

講演者 (敬称略) および講演タイトル (仮題)

藪田ひかる/ 広大 宇宙：太陽系天体の進化における
水の役割

平林由希子/ 東大 環境：安定同位体システムから読
み解く水循環および地球環境変動

古川善博/ 東北大 生命：地球初期生命の進化におけ
る水の役割

*「水」と「地球化学」をキーワードとして「宇宙・海
洋・生命」に迫る、というコンセプトです。

**講演会に合わせ、ELSIでもアウトリーチイベント
を午前中に企画中です。

●アウトリーチイベント (ELSI 広報と企画中です)

タイトル：惑星館

開催日時：9月16日(土) 午前

目的：実際の体験に基づき、惑星の多様性 (内部構
造・表層環境) を学ぶ

内容：惑星の多様性に関する講義を行ったあと、
ELSI 研究者を含む少人数のチームに分かれ、
対象とする惑星を模した巻きずしを作成する。
夏季でもあり、実際にはグラデーションキャン
ドルやジェルキャンドルといった、顔料とロウ
を使うような“工作” (持ち帰っても使える)
の方向で企画中です。

年会事務局：〒226-8502 横浜市緑区長津田町 4259,
G1-17

東京工業大学物質理工学院

2017年度日本地球化学年会事務局

委員長 吉田尚弘

E-mail: 2017LOC@geochem.jp

研究集会のお知らせ

● Goldschmidt 国際会議 2017 のお知らせ

横浜で開催された昨年の Goldschmidt 国際会議は
まだ記憶に新しいところですが、今年の Goldschmidt
国際会議は、8月13日(日) から18日(金) にフラン
ス・パリで行われます。Goldschmidt 国際会議は、地
球化学に関連する多くの分野を網羅し、会場では各国
から3000人以上の参加者が集まり、活発な議論がな
されています。日本地球化学会の会員は会員登録費が
非会員より安く設定されています。本会議のほかに、
オプションとして5つのフィールドツアーと17の
ワークショップも予定されています (別途、個々に要
参加登録)。まずは Goldschmidt 国際会議のホーム
ページを覗いていただき、会議の概要をご覧ください。
そして、さわやかな夏のパリで開かれる会議への
参加をぜひご検討ください。

Goldschmidt 国際会議ホームページ

<https://goldschmidt.info/2017/>

〈今後の日程〉

早期参加登録締め切り：6月13日(火)

この日まで会費 490€

事前参加登録締め切り：7月13日(木)

この日まで会費 590€

(会場当日受付の場合、会費 640€)

Goldschmidt 国際会議：8月13日(日) ~ 同18日(金)

問合せ先：広報委員会 pr@geochem.jp

(広報委員 Goldschmidt 会議担当 日高 洋, 広報幹
事 三村 耕一)

ニュースへ記事やご意見をお寄せください

地球化学に関連した研究集会、書評、研究機関の紹介などの原稿をお待ちしております。編集の都合上、電子メールでの原稿を歓迎いたしますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。次号の発行は2017年9月頃を予定しています。ニュース原稿は8月中旬までにお送りいただくよう、お願いいたします。また、ホームページに関するご意見もお寄せください。

編集担当者（日本地球化学会広報幹事・ニュース担当）

三村耕一

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻

Tel: 052-789-3030; Fax: 052-789-2530

E-mail: news-hp@geochem.jp

平野直人

〒980-8576 仙台市青葉区川内41

東北大学東北アジア研究センター

Tel: 022-795-3618; Fax: 022-795-3618

E-mail: news-hp@geochem.jp